
第2章 計画の策定手法

(1) 長岡京市地域健康福祉推進委員会の設置

計画の策定にあたっては、全市的な視野で総合的な検討を図るため、学識経験者、関係機関の代表、公募市民等からなる「長岡京市地域健康福祉推進委員会」を設置し、専門的な見地や市民の視点からの意見交換を行いながら、計画案について審議しました。

(2) 市民アンケート調査の実施

市民の福祉観や地域活動への参加状況などの実態を把握するとともに、地域健康福祉に関わるご意見、ご提言を広く聴取し、本計画に反映させていくため、アンケート調査（長岡京市地域健康福祉計画策定にかかるアンケート調査）を実施しました。

(3) 団体アンケート調査の実施

地域健康福祉に関わる団体等の活動状況を把握するとともに、地域健康福祉に関わるご意見、ご提言を広く聴取し、本計画に反映させていくため、各団体にアンケート調査を実施しました。

(4) 住民懇談会（ワークショップ）の開催（※長岡京市社会福祉協議会と協働実施）

計画づくりの段階から市民の積極的・主体的な参加・交流を図ることにより、地域でともに支えあい・助けあえる福祉社会の実現をめざすため、市民、地域活動団体などの参加を得て、ワークショップ形式による検討会を開催しました。

実施にあたっては、長岡京市社会福祉協議会と連携しながら、本市の4中学校区を単位として開催し、地域住民の皆さんに地域健康福祉の必要性を理解していただくとともに、日常生活における様々な課題等を話し合っていました。

(5) 企業アンケート調査の実施

市内における企業の地域活動の状況や今後の活動の可能性を把握し、計画に反映させるため、企業に対してアンケート調査を実施しました。